

札幌市の地域活動ガイドライン

本書は、「新しい生活様式」を実践する「北海道スタイル」の構築を目指しながら、新型コロナウイルス感染拡大の予防と地域活動の両立を図るための基本的な考え方を示すものです。各種地域活動を実施する際の参考としてお使いください。

1 「北海道スタイル」について

新型コロナウイルスとの闘いが長期化している中、国が示した「新しい生活様式」の北海道内での実践に向けた、新しいライフスタイルやビジネススタイル、それが「北海道スタイル」です。



※北海道HPより引用

2 地域活動では

(1) 活動の実施にあたって

地域活動は、地域住民の親睦や防災防犯、安全安心な環境づくりなど、大変重要な役割を担っています。一方で、地域でのイベントや各種会議など、感染拡大が懸念される活動などについては、引き続き十分な配慮を行う必要があります。実施にあたっては、基本的な感染対策が求められます。

(2) 地域住民への理解

地域での活動を再開・継続するにあたり、十分な検討・対策を行った上で実施したとしても、感染拡大の不安を感じる住民は少なくありません。

地域住民に対して、「活動の必要性」や「実施する上での感染対策」を周知し、理解と協力を得た上での活動が望まれます。

3 活動を行う上での基本的事項

(1) 基本的な感染対策の実施

「三つの密の回避」、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等により、感染リスクを減らしましょう。

「三つの密の回避」

- 密集しない
多くの人で混雑する状況や、少人数でも近い距離で集まることは避けましょう。
- 密接しない
互いに手が届く距離で会話や発声、運動などをすることは避けましょう。
- 密閉しない
窓がなかったり換気ができなかったりする場所での活動は避けましょう。

(2) 特に注意する活動

複数での飲食や密が避けられないなどの感染リスクの高い下記の活動について、実施する場合は、上記(1)に挙げた基本的な感染対策を徹底し、実施してください。

- ・調理、会食を伴う活動
- ・専ら運動することを目的とした活動（例：踊り、ダンス、体操、運動会 など）
- ・密閉した部屋で大きな声を出すことや歌う活動（例：合唱、カラオケ など）

(3) 症状がある場合等の対応について

- ・症状がある方、新型コロナウイルス感染症の検査陽性の方、同居家族に陽性者がいる方は、周囲の方に感染を広げないため、参加を控えましょう。
- ・その他、上記の症状が無い方でも、体調等に不安のある方などは、自主的に参加を控えましょう。また代表者は活動が強制とならないよう配慮しましょう。

4 各種活動事例における具体的な留意点

これまでの内容を取り入れながら、各種活動事例における具体的な留意点をお示します。なお、記載の活動はあくまで一例となりますので、各団体において、活動内容に応じて、適宜、感染対策に努めてください。また、必要に応じて、感染症対策チェックリスト（屋内・屋外活動用）をご活用ください。

(1) 定期総会等、各種会議・会合の開催

- ・座席の間隔を空け、適切な対人距離を確保する。
- ・窓やドアを開けるなどし、会場の換気を行う。
- ・大人数や長時間におよぶ飲食は感染リスクが高まるため、基本的な感染対策を徹底する。 など

(2) 清掃活動、花壇整備など

- ・作業は、適切な対人距離を確保した上で行う。 など

(3) 地域のまつり

- ・調理員は状況に応じてマスク、手袋を着用し、手袋はこまめに交換する。
- ・複数で扱う調理器具、食器はこまめに消毒・洗浄する。
- ・出店などへの行列で密集が起らないよう、誘導人員を配置するなど工夫する。
- ・会場内に飲食場所を設ける際は、座席間隔を確保するなどし、感染対策を徹底する。 など

(4) 会費の集金活動

- ・金銭受渡しの前後は手洗いを徹底する。
- ・月々の集金ではなく、数カ月に1度など、可能な限り回数を減らす。
- ・状況に応じて、集金時期の延期を検討する。 など

(5) ラジオ体操

- ・参加者同士の距離を置き、適切な対人距離を確保する。 など

(6) 回覧

- ・地域活動の告知等を行う場合は、実施にあたっての感染対策を明記し、地域住民の理解を得る。
- ・回覧板を手渡す前後は手洗いを徹底する。
- ・状況に応じて、郵便受けを活用する。 など

5 マスク着用について

令和5年3月13日から、国においてマスクの着用の考え方が見直され、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねられることになりました。

国から着用が効果的な場面が示されておりますので、適切にご判断いただくとともに、個人の意思に反してマスクの着脱が強いられることが無いよう、ご配慮をお願いします。

マスク着用の考え方の見直しについて（抜粋）

令和5年2月10日 新型コロナウイルス感染症対策本部決定

1 (2) 着用が効果的な場面の周知等

- ▶ 高齢者等重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、マスク着用が効果的な下記の場面では、マスクの着用を推奨する。
 - ✓ 医療機関受診時
 - ✓ 高齢者等重症化リスクが高い者が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時
 - ✓ 通勤ラッシュ時等混雑した電車やバス（※）に乗車する時（当面の取扱）
 - ※ 概ね全員の着席が可能であるもの（新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等）を除く。
- ▶ そのほか、新型コロナウイルス感染症の流行期に重症化リスクの高い者が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策としてマスクの着用が効果的であることを周知していく。

厚生労働省HP掲載資料より引用

URL: https://corona.go.jp/news/pdf/kihon_r2_050210.pdf

6 適用期間

本書の適用は令和5年3月13日（月）から当分の間とします。

新聞・テレビ等の報道に注意しながら、本書にお示しした対策の実施にご協力をお願いいたします。

「北海道スタイル」に沿った活動事例

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、人と人との接触を減らし、作業の効率化を図る取組が増えています。地域活動においても、下記のような活動を検討してみてもいかがでしょうか。

【オンライン会議】

スマートフォンなどの各種アプリを使った、オンラインでの会議です。役員会や三役会議など少人数での会議で用いられることが多いようです。それぞれが自宅に居ながら会議が行えます。

【SNS（ソーシャルネットワークサービス）を使った電子回覧板】

一部の町内会では、回覧の他に Facebook や LINE 公式アカウントなどを活用した情報発信が行われています。また、メール機能を使った町内会・自治会向けの回覧板サービス（有料）を導入している町内会もあります。

【会費の徴収方法】

個別に自宅を訪問し、町内会費を回収するのは、する側もされる側も不安や負担を感じる方がいらっしゃいます。口座振替の導入や会員からの口座振込などを活用し、回収に係る負担を軽減することもご検討ください。